

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1090	(H.24)No.	1090
-----------	------	-----------	------

事務事業名		不法投棄対策事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
生活環境部		環境対策室		名和健治	63-7496
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	13年度～	平成	年度	名張市廃棄物の適正処理及び環境美化に関する条例

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2 循環型社会の創造
	施策	2 ごみの減量化とリサイクル
	小施策	1 ごみの減量化
重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分		事業コード	272001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	不法投棄対策事業	
項	清掃費	(小事業名)	
目	ごみ対策費	不法投棄対策事業	

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・不法投棄の監視パトロールを通年でを行い、不法投棄物の早期発見、早期撤去を行うことにより、不法投棄ができない環境づくりを目指します。</p> <p>・家電4品目など法律でその処理方法が定められたものについて、適正に処理を行います。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>・不法投棄の監視パトロールと撤去体制を整備することにより真のごみゼロ社会の構築を目指します。</p>

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
			補助金・交付金	その他 ( 処理手数料が主 )		
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境レンジャー委託 1,500千円</li> <li>不法投棄物処理手数料 家電4品目 459千円</li> <li>タイヤ 239千円</li> <li>消火器 48千円</li> <li>産廃等 75千円</li> <li>消耗品費 97千円 (看板)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄物処理手数料 1,041千円</li> <li>消耗品費 10千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境レンジャー委託</li> <li>不法投棄物処理手数料</li> <li>消耗品費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境レンジャー委託</li> <li>不法投棄物処理手数料</li> <li>消耗品費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境レンジャー委託</li> <li>不法投棄物処理手数料</li> <li>消耗品費</li> </ul>	
<b>直接事業費</b>	<b>2,418千円</b>	<b>1,051千円</b>	<b>3,552千円</b>	<b>3,552千円</b>	<b>3,552千円</b>	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他( )					
一般財源	(0) 2,418	1,051	3,552	3,552	3,552	
人工数	職員	0.43人	0.15人	0.30人	0.30人	0.30人
	臨時職員等	0.20人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
<b>概算人件費</b>	<b>(0千円) 3,479千円</b>	<b>1,095千円</b>	<b>2,360千円</b>	<b>2,360千円</b>	<b>2,360千円</b>	
<b>+ 総事業費</b>	<b>(0千円) 5,897千円</b>	<b>2,146千円</b>	<b>5,912千円</b>	<b>5,912千円</b>	<b>5,912千円</b>	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	不法投棄の処理件数	-	-	-	-	-
	実績		5,575	5,973	4,385	6,874	
成果指標	目標	市内で発生する廃棄物が適正に処理されていると感じている市民の割合	-	-	-	-	72.0
	実績		69.4	72.3	76.2	78.1	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度は、緊急雇用創出事業の環境レンジャーを雇用したため、シルバー人材センターに委託の環境レンジャー活動を縮小した。	平成24年度は、環境レンジャーを緊急雇用創出事業の3名のみとし、シルバー人材センターへの委託は無しとなっている。平成25年度以降は、委託を復活する必要がある。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
緊急雇用創出事業による環境レンジャーが確保できない場合は、シルバー人材センターに不法投棄対策パトロールを委託する必要がある。	環境レンジャーの不法投棄対策活動は、市民及び地域に感謝されている。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	継続することにより事業の質と範囲を広げることができる。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	緊急雇用創出事業の不法投棄ごみ撤去事業と連携できる。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	緊急雇用創出事業の継続を熱望する。
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	各地域ビジョンに環境の取組みはある。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	事業が継続できれば、反映も可能と考える。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	効率的な工夫は可能と考える。

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項